

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 27 日

評価対象事業	評価者	こどもみらい課担当課長 小柳出 延之
こども-02 子育て支援事業	☒ 自治事務	主管課 こどもみらい課
	☐ 法定受託事務	関連課 こども相談課
総合計画上の位置付け	分野	子育て
	施策の方針	すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	子育て家庭等
意図	子育てに関する多様なサービスや情報を提供し、子育てニーズに対応するため。
効果	子育て中の市民が子育てを楽しみながらできる環境整備を行う。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・子育て家庭に情報提供をするために子育て支援コンシェルジュを配置した。 ・一日冒険遊び場、子育て家庭を対象とした講座・イベントなどの開催に係る費用の一部を助成した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口 177,464人 世 帯 数 80,368世帯 事業の対象者数	177,243人 80,676世帯	人 口 176,869人 世 帯 数 80,928世帯 事業の対象者数		・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	決算値(千円)	8,263	当初予算(千円)	4,303	
	国県支出金	4,778	国県支出金	1,758	
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	3,485	一般財源	2,545	
	人員配置数	2.8	人員配置数	1.9	
事業費運営	人件費(千円)	22,517	人件費(千円)	16,002	
	総事業費(千円)	30,780	総事業費(千円)	20,305	
	市民1人当りの経費(円)	173	市民1人当りの経費(円)	115	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
		協働実施済の場合のパートナー かまくら子育て支援グループ懇談会
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す → ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 ☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		見直しの内容 一日冒険遊び場の常設化を目指す。 かまくら子育てメディアスポットにて、より充実した子育て支援情報の提供を行う。
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 一日冒険遊び場の常設化を進めるにあたっては、場所や人員など限られた資源のなかで有効な方法を検討する。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	既存の施設や公園等を有効活用するため、庁内の関係課と連携を図るとともに、子育て支援団体や地域のボランティア等と一緒に「一日冒険遊び場」の常設化を進めていく。また、保育コンシェルジュ及びかまくら子育てメディアスポットの更なる活用について検討していく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	「鎌倉市子ども・子育てきらきらプラン」の推進主要施策の一つである「多様な体験機会の確保」について、「一日冒険遊び場」の常設化等を検討。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	「一日冒険遊び場」の常設方法については、開催場所やプレイリーダーなどの具体的な手法についての検討にまで至っていない。しかし、「一日冒険遊び場」を月に1回程度定期的に、常設に近い形で開催した。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	「一日冒険遊び場」常設化の検討を行うに当たっては、場所や人員など限られた資源の中で有効な方法を検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	プレイパーク事業(一日冒険遊び場)実施状況								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	横浜市	川崎市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	○		○	○	○			○	
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	プレイパーク事業実施状況にはバラつきがあり、手法も市町村により様々である。開催場所や人員等の条件を踏まえ、本市にとって有効な手法を検討していく必要がある。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	子育て支援事業利用者延べ人数					単位	人	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
子育て支援事業の認知度や、「利用しやすさ」を図る指標となるため。	目標値									
	実績値	16,600	6,254							
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	「一日冒険遊び場」の参加者は増加傾向にあり、引き続き、庁内の関係課及び子育て支援団体等と連携を図りながら、一日冒険遊び場の常設化を目指していく。また、かまくら子育てメディアスポットについては、平成27年度は前年度と比べ利用者がやや減少したが、平成28年度より保育コンシェルジュとしての活動がスタートし活動の幅も広がるため、利用者の増加が見込まれる。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☒ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--